

むらやま 議会だより



写真／ひばり保育園入園を祝う会にて

もくじ

◎ 3月定例会	P 2～3
◎ 予算特別委員会	P 4～5
◎ 一般質問	P 6～10
◎ 議会活動レポート	P 10～11
◎ 議会報告会	P 11
◎ 市民の声	P 12



←携帯からはコチラ



0万円
3万円

を可決

3月
定例会

ト／村山駅東西エリアの開発



開発が進む駅西市道整備

令 和2年第1回定例会は3月2日から3月19日までの会期で開催され、新年度予算などを審議しました。

一般会計では、子育てスマイルプロジェクト・駅西エリアの市道整備事業・楯岡まちなか再生整備事業・にぎわい創造活性化施設整備事業など132億4千万円（対前年比4.9%増）となりました。

新年度予算8件、条例の一部改正など12件補正予算7件が提案され、新年度予算は予算特別委員会に付託し、全議案原案のとおり可決、閉会しました。

条例等

◎村山市民センター条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、規定について見直しを行うものです。

◎村山市住居表示審議会条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、委員の規定について見直しを行うものです。

◎村山市印鑑条例の一部を改正する条例

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため、関係法律の整備に伴い改正を行うものです。

◎村山市職員のサービスの宣誓に関する条例及び村山市教育職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員のサービスの宣誓について必要な事項を定めるものです。

◎村山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例

市職員における休暇として、不妊治療のための休暇規定を整備するものです。

◎督促手数料廃止に伴う関係条例の整理に関する条例

市税の督促手数料を廃止することに伴い、関係条例について所要の改正を行うものです。

◎村山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例

多子世帯に係る保育料の負担軽減制度を拡充することに伴い、所要の改正を行うものです。

◎村山市墓地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

新年度
一般会計予算

特別会計予算

132億400
85億173

😊子育てスマイルプロジェクト

ポイント

- 安心して子どもを産み育てる環境を整えるための施策を拡充し「子育てスマイルプロジェクト」発足。
- 高速道路開通を見据えた村山駅西エリア市道整備や中心市街地再整備のための楯岡まちなか再生整備事業を推進。
- 楯岡高校跡地の施設整備に係る設計、跡地の取得費などのにぎわい創造活性化施設整備事業の推進。



未来を担う子どもたち

新年度の主な事業

○駅西開発に伴う道路・環境整備事業	3億8,280万円
○にぎわい創造活性化施設整備事業	1億6,700万円
○楯岡まちなか再生整備事業	3億1,620万円
○子育てスマイルプロジェクト	総額 2億9,481万円
○重点作物推進事業	110万円
○雪景色観光誘客促進事業	230万円
○むらやま健幸ポイント事業	675万円
○除雪機械整備事業	3,094万円
○クアハウス基点長寿命化計画策定事業	1,487万円
○市公式ホームページデザインリニューアル事業	132万円

- ◎**市道路線の認定**
宅地開発に伴う市道の整備及び地域の生活道としての利便性向上を図るものです。
- ◎**村山市消防本部等設置条例の一部を改正する条例**
消防署大久保出張所を廃止することに伴い、所要の改正を行うものです。
- ◎**村山市市営住宅条例の一部を改正する条例**
民法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。
- ◎**村山市市営住宅条例の一部を改正する条例**
民法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

◎**固定資産評価審査委員会委員の選任**
(任期満了による再選)
太田 健一氏(楯岡)

令和2年 予算特別委員会



海老名幸司
予算特別委員長

本委員会は、全体会及び二つの分科会において、新年度一般会計予算1件と、特別会計予算7件を慎重に審査を行ってきました。

「市民第一」である行政の姿を追求しながら、情勢変化に即応した質の高い行政サービスを提供することが重要であるとの議論がされました。

主な施策として「子育てスマイルプロジェクト」と銘打った安心して子育てができる支援策、また「村山駅東西エリア開発」へ向けた道路整備などに重点的に予算配分されていることから、人口流出に歯止めをかけようとする村山市の決意を感じるところであります。

一方で、今後も歳入増が見込めない中、大規模な事業が予定されており、更に老朽化している施設への対応など、歳出は増加する状況にあります。国や県の動向を注視し、適時、適切な予算執行が行われるよう要望し、全会一致で可決いたしました。

活かせ 議員の指摘

総務文教分科会

●職員研修については、情報通信技術の活用が進むことが予想されるため、研修に加えていただくように要望する。

●楯岡高校跡地利活用について、中心市街地のにぎわい創造活性化の鍵となる施設のため、事業実施においては、将来の事業展望を十分に見据えながら行うよう要望する。

●定住促進対策や子育て支援策など将来を見据えた投資的な事業は、今後事業の効果検証を行い、将来にわたっての健全財政運営に努められるよう要望する。

●市税収入は重要な自主財源である。税負担

の公平性の観点から、徴収アドバイザーの活用など、収納体制の一層の強化を要望する。

●出動件数が年々増加する救急業務は、装備の充実に加え、必要な人的配置は人事担当課と連携し、安全に業務にあたるようお願いする。非常備消防は、消防団の再編計画と併せ、消防施設の整備について、着実に行うよう要望する。

●中学校給食は、完全給食を実施することになり、安全でおいしく食べられる環境と、事業者と連携した地産地消について積極的な取り組みを評価する。

産業厚生分科会

●農業委員会の地道な活動により集積は進んでいるものの、134.6haの遊休農地があり、経営者の高齢化や担い手不足、鳥獣被害による耕作放棄地など今後増加するのではないかと危惧する。

●新年度より事業展開される重点作物については、農業者や関係各所と連携を図りながら産地化、及び集約的な団地化が推進されるよう要望する。

●村山駅東西エリア開発に多くの予算を配分されており、市民の関心も高いことから早期に完成を望む。バラ回廊についても広く意見を聞きながら進めるよう要望する。

●介護予防は、福祉分野で重要な事項だが、高齢者は体を動かす機会が少なく、積極的に参加しない方がいるのが現状。ボランティア活動事業は、そういった高齢者に対し、まずは、動いてもらうことを目的とした事業で、自ら動いて人と関わりを持つてもらうことで、介護予防に大きく貢献するものと評価する。

●健康寿命を延ばすこととは、医療費の減少にもつながる。複数の健康増進事業を行っており、新たに実施した健幸ポイント事業は、是非活用いただきたい事業のため、市民に分かりやすい周知を望む。

予算特別委員会 総括質疑

市民生活

向上に

どう活かす

ひとり親家庭の支援拡 充を望む

Qひとり親家庭の6割が、200万円未満の収入となっている。子どもが1人の場合5万円、2人の場合7万円、3人の場合9万円給付されるが、今後さらに拡充すべきでは。

A県内初の事業であるので、全般を見ながら考えていきたい。

農地の緩傾斜地も対象 にしては

Q中山間地域等直接支払制度に、急傾斜地だけでなく隣接する緩傾斜地も対象にしてはどうか。

A今後は急傾斜地と物

理的に連担している場合の要件を追加するなどして緩傾斜地を含めるかについて慎重に判断していく必要がある。

中身を充実させる年にしていき、数字的に見える形にしていきたい。



中山間地の柵田

教育の質向上に期待

Q授業改善や算数・数学学力向上のため、また、ALT活動など教育向上事業を展開しているが、予算の上乗せで更に良くなることはあるか。

A事業開始から英語は4年、数学は3年目になる。来年度は、これまで拡充してきたが、

ふるさと納税者を大切に

Qふるさと納税の返礼品は、民間の発想で米を玄米や無洗米・分割での発送や湯舟沢温泉の温泉ミストなど新たな商品を展開するが、村山の固定ファンを生み出すことは大変重要と考える。納税者を村山市に招いて感謝ツアー・感謝祭を行ったらどうか。

A以前に直売システムの中で実施したところ、大変好評と聞いているため選択肢の一つと考える。

時代に乗り遅れるな

QICT分野は、移り変わりが早く、5、6年で大きく進歩していく。



村山市 ホームページトップ画面

各事業でICT事業、ICT分野と書いてあるが、市のホームページが時代の流れに乗れないと、ICT推進は不可能である。積極的に、意欲的な職員を登用していただきたい。

A5、6年もすればホームページは古くなる。都度変えていければよいが予算が追いつかない。ICT分野に精通しているからといって職員をすぐ移せるわけではないが、時代に合うように変えていきたい。

新型コロナウイルス感染症対策を万全に

Q感染症予防事業について、昨年と同じ2万7千円の予算では足りないと思うが、いかがか。

A感染症予防法に基づいて感染症の病原体に汚染された物件などの消毒を行うための消毒液、消耗品を購入する予算。予算の編成時期が12月であったために今年度と同じであった。新型



こどもたちの昼食風景

コロナウイルス感染症対応費用としては適切に対応していく。

多子世帯の副食費負担軽減望む

Q認定こども園事業で副食費免除対象の第3子の数え方が国の制度（小学3年生から数える）で数えているが、負担軽減と間違いを防ぐ意味でも市の制度と同じ数え方にした方がよいのでは。

A今後は、18歳未満の数え方で検討していく。



細矢 清隆

地域の福祉、充実を早急に

答弁 調査研究する

Q 地域福祉に対する考え方、今後の具体的な取り組みについて伺う。

A 地域福祉は、重要である。高齢者が外に出ていただく事で認知症や介護につながるようなように予防していく。行政と地域が一体となった取り組みが必要、今後も調査研究をしていく。

Q 介護保険に対する市民の理解が得られていない、今後の対策として、何をすべきか伺う。

A 理解してもらいために、市報、チラシなどで周知したいと考える。また地域や企業より要望があれば出前講座も考えており、機会をとらえ説明できるように検討したい。

Q 居合振武館の環境整備について伺う。

A 居合道については、今はソフト面で頑張っているが、環境整備については進んでいない。現在、交渉を行っており、これが解決すればすぐに整備に入る。



大久保地域の健康マージャン



犬飼 司

国土強靱化地域計画の早期策定、公表を望む

答弁 必要なものだ

令和2年度の完成を目指す

Q 画は、大規模自然災害などで「起きてはならない最悪の事態」を想定し策定される。

A 国土強靱化地域計画は、大規模自然災害などで「起きてはならない最悪の事態」を想定し策定される。政府では、そのための交付金・助成金を用意しているが、計画策定が交付条件となつていく。早期策定が必要と考えるがどうか。

Q 各課の計画内容はどうのものか。

A 令和2年度中の策定予定。計画実施は迅速に行っていく。

Q どのようなものか。

A (総務課) 人命の保護が最大限に図られること、重要な機能の維持、財産・公共施設の被害の最小化、迅速な復旧復興を目指す計画を立てる。(水道課) 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を盛り込む。(学校教育課) 学校の耐震化、非構造部材の



危険水位を超えた最上川

処置も完了し、今後は維持管理、時代に合わせた学習方法などを盛り込んでいく。(建設課) 重要インフラの整備、建物の耐震化、空き家、道路・橋の老朽化、内水・河川の氾濫対策を盛り込む。(消防本部) 防火水槽などの消防防災施設の整備を計画する。

Q 避難所でもある学校のトイレの洋式化普及。急傾斜地の地滑り、崩落対策、河川の浚渫。鳥獣被害対策を加えることを要望する。



吉田 創

村山市三十路式をするべきだ

答弁 面白い考えだ

Q 若い世代の雇用創出、地元企業との連携を構築できる企業誘致をするべきだと考えるが、市長の考えを伺う。

A 新しい企業誘致よりも既存企業の振興に重点をおく。東原集積地を企業誘致や企業移転場所として、整備してはどうか。

Q 景気の動向を見ながら調査していく。令和元年度で6回目となった北村山広域商談会だが、実際どれくらい商談成立金額があるのか。

A 1回目だけの商談成立金額だが、平成29年度は277万円、平成30年度は、260万円となっている。

Q 村山産業高校生徒にやまがたふるさとCMを作った頂いたらどうか。

A 面白いと思うが、村山産業高校の意向もあるので検討する。山形県は移住・定住に力を入れる姿勢を鮮明にした。村山市はどのような取り組みをするのか。

A ふるさとワーキングホリデーやお試し地域おこし協力隊がある。

Q 30歳を祝い、新たなつながりを作れる場として、三十路式をするべきだと考えるが市長の考えを伺う。

A 面白い考えだと思

うが、民間でするべきだ。村山市としても予算を考える。

Q 第5次総合計画は本年度で施行から5年が経過し、令和2年度より後期計画へと移行する。総合計画とは市民にとって指針となるものであり、その達成度は分かりやすい形で公表すべきと考え

るが市の見解は。

A 前期では様々な施策を行ってきたが、定量的に評価するのは困難であった。後期計画では指標および目標値を明確にし、より分かりやすいものにしていきたい。

Q 教育関連の事業は達成度が高い。目標の明確化に対する市長の考えを伺う。

A 今後は、よりメリハリをつけて事業評価を行っていく。

Q 連携中枢都市圏構想に対する市長のスタンスを伺う。



令和元年度 第4回山形三十路式の様子



小山 大地

第5次総合計画前期（5年間）の達成度は

答弁 前期は達成度を定量的に評価するのが困難

Q 第5次総合計画は本年度で施行から5年が経過し、令和2年度より後期計画へと移行する。総合計画とは市民にとって指針となるものであり、その達成度は分かりやすい形で公表すべきと考え

るが市の見解は。

A 前期では様々な施策を行ってきたが、定量的に評価するのは困難であった。後期計画では指標および目標値を明確にし、より分かりやすいものにしていきたい。

Q 教育関連の事業は達成度が高い。目標の明確化に対する市長の考えを伺う。

A 今後は、よりメリハリをつけて事業評価を行っていく。

Q 連携中枢都市圏構想に対する市長のスタンスを伺う。

A 面白い考えだと思

うが、民間でするべきだ。村山市としても予算を考える。

重大事業	事業の目的	進捗の概要	主要な取組と課題	自己評価
産業振興策の実施	産業振興策の推進による地域活性化	産業振興策の推進	産業振興策の推進	達成
子育て支援策の実施	子育て支援策の推進による子育て支援	子育て支援策の推進	子育て支援策の推進	達成
高齢者支援策の実施	高齢者支援策の推進による高齢者支援	高齢者支援策の推進	高齢者支援策の推進	達成

各種資料のQRコード

第5次総合計画について

前期基本計画進捗状況について

後期基本計画について

前期基本計画進捗状況（一部抜粋）



阿部 正任

消防団員のなり手不足の状況ではないか

答弁 組織再編計画を策定した

Q クアハウス基点を発着点とした遊歩道、その下流域には最上川三難所を巡るフットパスコースが整備されているが、コース歩道の更なる延伸や再整備計画を伺う。

A 当時、最上川周辺の魅力ある景観を歩いて楽しむ空間を創るということで、18kmのコースを既存の道路も含めて整備した。今後も引き続き整備を検討するが、まずは現在造成中の三ヶ瀬眺望広場を再整備計画として進めていきたい。

Q 観光コースとしての更なる情報発信や、周辺施設も交えたイベント開催などの考えはないか。

A フットパスコース付近には様々な観光資源が点在している。点から面への観光拠点

へとつないでいきたい。人口減少や若者の流出で消防団定員数の確保が難しいと思われるが、現在の消防団員の状況はどうか。

合など団の再編計画を進めているところだ。

Q 定員数の見直しや退団者への協力依頼、報酬の引き上げなどは考えていないか。

A 現行の改革を行う。総定員数をわずかに割っている。団員数の維持に厳しい地区もあり、現在班の統

軽トラック積載車と車庫



軽トラック積載車と車庫

新規就農者の近年の状況を伺う。



高橋 菜穂子

新規参入農業者の受け入れ体制づくり

答弁 前向きに研究・検討したい

Q 新規就農者の近年の状況を伺う。

A ここ5年の新規就農者の数は41名で、年平均にして8名である。親元就農が24名、法人雇用が15名、新規参入が2名である。

Q 親元就農や雇用就農に比べ、新規参入の就農者が増えている。課題は何か。

A 設備投資資金の確保と生産技術の習得、就農後の所得の安定が課題である。

Q 選定された重点作物のひとつであるトマトにおいて、ハウスのリース事業、生産者部会による生産技術の指導体制づくり、新規就農者用住宅の整備を行い受け入れ態勢を作ることをご提案する。

大江町では先進的に取り組み、家族も含めて5年で30名が県外より移住している。定住人口対策としても重要な視点であり、前向きに研究・検討してみたい。

Q 子育てスマイルプロジェクトについて歓迎する声が多いが周知・広報と定住促進については定住促進室

を作り重点的に取り組むべきではないか。考えについては受け止めておきたい。

Q 山形市中枢都市圏連携協定において、経済圏として東北中央自動車道の利用料の軽減を提案してはどうか。



大江町の新規就農者用住宅



田中 正信

「健康長寿社会」を目指して

答弁 「何ができるか」みんなで考えよう

考えよう

※持続的な成長を実現できるよう社会インフラが賢く使える集約型の都市のこと

Q 健康長寿社会を目指す「市民会議」を設立してはどうか。

A 勉強させていただき、高齢者がいきいきと生きられる社会を目指す。

Q 高齢者の働ける職場を確保するためシルバー人材センターの機能を強化すべきではないか。

A シルバー人材センターとターとしての機能を果たせるよう働きかけていく。

Q 朝の「ラジオ体操」を普及させてはどうか。

A 大変有意義であり、各地域が自主的に取り組んでいただきたい。

Q 国が進める「立地適正化計画」は、どう進んでいるか。

A 旧楯高跡地周辺の開発計画を進めて

いる。これにより賑わいの創出と快適な生活環境づくりが期待される。また、※集約型都市構造（コンパクトシティ）については、重要な課題と考える。

Q 教員の働き方を改革する

には、地域の協力が大事と考える。そして、学校を「核」とした地域のコミュニティを形成すべきではないか。

A そのように願いたい。

教員の働き方を改革し、先生も生徒も笑顔でいきいきと活躍できるように努めたい。



村山市民会館にて、「元気なみなさん」

総務文教常任委員会
管内視察 2月13日

富並小学校

全児童数51名。2・3年生、4・5年生が複式学級でした。初めて見る複式学級で感じた事は、担任の先生が1つの教室で2つの学年に対し異なる教科を児童一人一人に分かりやすく教える対応方法に驚き、給食を児童とおいしくいただきました。



富並小学校の複式学級

楯岡小学校



楯岡小学校授業の様子

全児童数536名。全学年の授業を見学し、1クラス当たりの人数

が多いにも関わらず、児童全員の眼が黒板に集中する姿、生き生きとした授業態度に感心しました。

産業厚生常任委員会
管内視察 3月25日

新型コロナウイルス感染症による影響について。

たてやまキッズクラブ

• 遊びの時間を分けるなど工夫している。
• 利用者が増加し、指導員の体制整備に苦慮している。

ひばり保育園

• 体温測定や手洗いがいなどの予防を徹底しているため、1月、2月のインフルエンザ罹患者は0である。
• 入園式は実施する。



ひばり保育園にて説明を受ける

クアハウス基点

• 宴会や宿泊などを含

め、3千万円以上のキャンセルが発生した。
• 免疫力向上メニューや宿泊料割引など様々な対策を講じている。

市政・公明クラブ
行政視察

○12月25日

寒河江市のチェリナ寒河江では、屋内多目的運動場として年間を通じて楽しむことができます。災害時には、支援物資保管施設として物流拠点基地の役割を担っています。

○1月28日・29日

「母になるなら流山」の、千葉県流山市では、市民・事業者・学校が一体となって子育てをサポートする体制を整備していました。

東北中央自動車道の早期開通について・特別交付税の確保などを県選出の国会議員・国土交通省・総務省に要望書を提出。東北中央自動車道の開通は要請10日後に開通の明示となりました。

市民の声

～「心」が「洗」われる～



永井 雄大 さん
(袖崎)

袖崎地区の洗心座で脚本を書かせて頂いてる永井雄大と申します。洗心座は創設から25年が経過しており、最近になって多くの方々から名前を覚えて頂いてることを嬉しく思っています。まだご存じでない方は、以後万端お見知りおきを。

その他にも村山市内で徳内祭りやスマブラ大会、デュエマ大会などに携わっていますが、その中で感じるのは、袖崎地区ひいては村山市が持つ得体の知れない可能性を秘めたエネルギーです。



「洗心」の二文字を背に

「井の中の蛙大海を知らず されど井戸の深さを知る」

僕の好きな言葉です。僕はこの村山市の可能性ある井戸をもっと深く掘ってみたい！自分のいる場所に誇りを持っていたい！そう思っています。

僕がいつも前を向いて進んでいけるのは、独りじゃないからです。どこにいても味方でいてくれるみんなに感謝です。今後もみなさまからの協力を受け、「みんなの笑顔のために」「はだしの心」で走り続けていきます。



袖崎ほっとな雪まつり



実際の台本

〈表紙写真〉

4月6日、ひばり保育園において入園を祝う会が開催されました。園児たちのこれからの成長を地域全体で見守りましょう。

◎市立ひばり保育園 園長：須藤三枝子 ☎ (55-2531)

広い園庭や園舎など恵まれた環境の中で自然遊びをたくさん取り入れ、好奇心や主体性を大切にされた保育を行っています。
住所：楯岡北町二丁目5番56号

【園児数】……計66名 (新入児19名)

3歳未満児34名 3歳児10名 4歳児9名 5歳児13名



みんなで歌いましょう

あ と が き

委員長 石澤 祐一
副委員長 犬飼 一
委員 高橋 菜穂子
委員 阿部 正任
委員 高橋 卯任
委員 吉田 大創
委員 小山 大地

新型コロナウイルス感染症拡大など困難な状況にあります
が、健康を最優先に
お過ごし頂きますと
幸いです。
(小山)

傍聴される皆様へ 大事なお知らせ

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月の本会議及び委員会等の傍聴はご遠慮下さい。

◎会議の予定はホームページなどでお知らせしますので、インターネット中継をご視聴いただきますようお願い申し上げます。

詳しくは、<https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/gikai/index.html>

村山市議会→議会中継(ライブ中継・録画中継・外部リンクより)



↑携帯からは
コチラ